

美里分署高規格救急自動車（205号車）購入

仕 様 書

（消警施備第1号）

宇城広域連合消防本部



## 第1章 総則

### 1 目的

この仕様書は、宇城広域連合（以下「当連合」という。）が令和8年度に購入する災害対応特殊救急自動車（以下「当車両」という。）及び高度救命処置用資器材の仕様について、必要な事項を定める。

### 2 概要

- (1) 当車両は、令和8年度に公表製作されたものであること。  
当車両は、高規格救急自動車として必要な資器材、取付け品及び付属品等整備するほか、この仕様を十分満足し得るよう艤装するものとする。
- (2) この仕様書の記載事項について、変更しようとするときは、理由書及び図面を付して当連合の承認を得ること。
- (3) 積載する救急医療資器材納入メーカーは、薬事法（昭和35年法律第145号）第24条の規定に基づく、医療品の販売業の許可及び同法第39条の規定に基づく高度管理医療機器等の販売業の許可を受けていること。
- (4) 本車両は緊急防災・減災事業債制度に適合する緊急自動車であること。

### 3 適合法令

当車両は、次に掲げる法令、その他関係のある法令、通達に適合するものであること。

- (1) 救急業務実施基準 昭和39年自消甲教発第6号
- (2) 道路運送車両法 昭和26年法律第185号
- (3) 道路運送車両の保安基準 昭和26年運輸省令第67号
- (4) その他関係のある法令通達等

### 4 提出書類

- (1) 当車両の製作前に次の書類を提出し、当連合の承認を得ること。
  - ア 契約後速やかに当車両の価格内訳書及びシャーシの主要諸元表 2部
  - イ 艤装三面図又は四面図以上 2部
  - ウ 作業工程表 2部
- (2) 完成納入時に次の書類を製本し提出すること。
  - ア 最終艤装三面図以上 2部
  - イ 最終電気配線図 2部
  - ウ 取扱説明書 2部
  - エ 改造自動車等届出書（写） 2部
  - オ 各主要部一覧表（製作会社、住所、電話、カタログ） 2部
  - カ 修理基準書（メンテナンスノート可） 1部
  - キ 車両写真（5面 前後・左右・上部） 2部
  - ク その他当連合で指示したもの

## 5 検 査

仕様書及び承認書類に基づき、完成検査は当連合が指定した場所で行う。

なお、中間検査は書類審査による。

## 6 登録手続の代行

車両完成後、熊本陸運支局長が行う新規登録検査のための手続きを代行し、当該検査を受けた後納入すること。

自動車重量税・自動車損害賠償責任保険料・リサイクル税等諸経費については、この契約に含むものとする。

なお、当連合の支給する備品も重量計算に入れて登録を行うこと。

## 7 車両更新に伴い当連合が指定する救急車1台の抹消登録、並びに自動車損害賠償責任保険の解約を受注者の負担で実施すること。

## 8 納入時、車両の燃料を満載すること。

## 第2章 仕 様

(仕様諸元)

### 1 本 体

(1) 本体は、シャーシ、ボディ及び付属装置から構成されるもの。

(2) 構造は次のとおりとする。

ア 外板は金属製又はFRP製とし、主要部は十分な強度を確保すること。

イ 前後輪荷重及び左右荷重の平均なバランスを考慮し、堅牢で耐久性に優れていること。

ウ 金属板等の切断及び溶接部は危険防止のため安全な処置を施すこと。

エ 補強鉄板は十分な大きさ及び厚さを有したものを使用し、確実に補強すること。

オ フロント及びリアの赤色灯の間に、救急活動のための救急隊員用作業灯(LED2灯)を左右に設けること。また、後部バックドアにもLED作業等を設けること。

カ 本体の構造は密封型とすること。

キ 前照灯はLEDとすること。

### 2 仕様材料及び部品の規格

(1) 車両に使用する材料及び部品は、特に指示するものを除き日本産業規格(JIS)のものを使用すること。

(2) 主要構造には、一般構造用圧延鋼材を使用すること。

(3) その他使用材料については、次によること。

ア プラスチック類は、全て難燃性のものを使用すること。

イ ゴム製品類は、全て耐油性の合成ゴムを使用すること。

ウ 木材は十分乾燥したものを使用し、製作後変形等が生じないものとする。

### 3 車両及び取付け製品

- (1) 車両の主要構成品は、新規製品のものを使用すること。
- (2) 各取付け品及び部品は、新規製品又は新品を使用すること。
- (3) メーカーが公表した標準取付け品は全て取り付けること。ただし、当連合で不要と認めるときはこの限りでない。

### 4 車両寸法

- (1) 全 長 5,700mm 以下
- (2) 全 幅 2,000mm 以下
- (3) 全 高 2,900mm 以下
- (4) ホイールベース 3,700mm 以下
- (5) 最小回転半径 6,400mm 以下

### 5 患者室寸法

- (1) 室内長 3,100mm 以上
- (2) 室内幅 1,600mm 以上
- (3) 室内高 1,800mm 以上

### 6 エンジン型式

- (1) 総排気量 2,488cc 以上 (ガソリンエンジン)
- (2) 種類・シリンダー数 4気筒以上の OHC 又は DOHC
- (3) 最高出力 KW(PS)/rpm 108(147)/4,800rpm 以上
- (4) 最大トルク N.m(Kgm)/rpm 213(21.7)/3,800rpm 以上

### 7 動力伝達装置等

- (1) トランスミッション 電子制御4速以上オートマチック
- (2) ステアリングギヤ形式 パワーアシスト付ラック&ピニオン式  
又は、ラック&ピニオン式
- (3) サスペンション (前) ダブルウィッシュボーン式又は、ストラット式(後) リーフリジット式又は、(前後) ダブルウィッシュボーン式  
トーションバースプリング
- (4) 駆動方式 4輪駆動方式とする。  
(オールモード4×4) 又は、(フルタイム4輪駆動) 若しくは (パートタイム4WD)
- (5) その他  
ア 乗車定員 7名以上  
イ 燃料タンク 無鉛レギュラーガソリン 65L 以上  
ウ 泥よけ (前) (後) 4か所  
エ タイヤ アルミホイール付ラジアルタイヤとする。

## 第3章 艙装

(艙装)

### 1 運転室及び患者室

#### (1) 内装

- ア 運転室の装備品は、別途指示ある事項を除いて標準仕様とする。
- イ 材料については、色調の調和を図ること。
- ウ 天井は、断熱及び電子サイレン音の遮音を考慮し二重構造とする。
- エ アンテナ台座及び赤色警光灯の取付け部には、点検口を設けること。
- オ 床は水洗い等に十分耐える防水構造、又は防水処置を施すこと。

#### (2) ドア

- ア 運転室左右のドアには、ドアポケットを取り付けること。
- イ 後部ドアは、跳ね上げ式でメインストレッチャー等の出し入れに支障のない幅及び高さを有し、下方にはステップを設けること。
- ウ 各ステップには、滑り止め及び手摺り棒処置を施し乗降する者の安全を図ること。
- エ 側面ドア及び後部ドアには、オートクローザー(イージークローザー)を取り付けること。又、後部ドアには非常時の開放機構を設けること。

#### (3) 窓

- ア 側面のドアの窓は、スライド式に開放ができる構造とし、確実に固定できるストッパーを設けること。
- イ 右側面の窓は運転席以外はプライバシーガラス、又は曇りガラスとし、その内側は白色とすること。
- ウ 左側面の窓とバックドアの窓は、下方から1/2以上は曇りガラスとし、上方は調光フィルム(ON/OFF切替えスイッチ付)とすること。

#### (4) 座席

- ア 座席には総てシートベルトが設けられていること。
- イ 患者室前部にメディカルシート、患者室スライドドア入口右側に前向きサイドシートを設け、シートバックを倒すとサブストレッチャーをセットできる座席を設けること。
- ウ マルチサイドシートは跳ね上げ式で、取付け金具は十分な構造とすること。

#### (5) 安全対策

- ア 患者室右側(運転席側)に、アシストグリップを設けること。
- イ 患者室天井部(中央部)に、アシストグリップを設けること。
- ウ バックドア開口部に、大型のアシストグリップを設けること。

### 2 冷暖房装置

- (1) 運転室及び患者室を同時に冷暖房できる構造とする。

- (2) 患者室には、電動換気設備（排気）を適当な位置に設けること。また、風雨時に雨水が侵入しないように、逆流防止の構造とする。

### 3 資器材収納庫

- (1) 構造は堅牢で、かつ、走行中の振動により異音の少ないものとする。
- (2) 寸法精度が高く、ゆがみ、又は隙間が少ないようにすること。
- (3) 外面及び内面には危害を生じ、又は収容物に損傷を与える恐れのある鋭利な突起物等がないようにすること。
- (4) 各扉及び引出しには、必要により走行中の振動又は内容物の移動により開放しない固定装置を設けること。また、固定装置は機能が確実で、かつ、容易に固定及び解除ができるものとする。
- (5) 資器材収納庫、引出し式収納庫、ルーフサイドボックスを設けること。
- (6) マルチサイドシート一体型ボックスを設けること。
- (7) ME機器ラック、サイドラックを設け、使用する資器材が収納できAC100V商用電源、バッテリーの電源を使用できる配線を設けること。
- (8) 運転室にウォールポケット（網棚）を設けること。
- (9) 酸素ボンベ（10L）収納庫を設け、ボンベ2本をそれぞれ個別に脱着できる構造とする。
- (10) 運転室及び患者室には、当連合の指定する位置にバネ付きC型フックを設けること。
- (11) 患者室の床と各資器材との接続部には、水洗いに耐える十分な防水処置を施すこと。
- (12) 収納庫は積載する資器材が全て収納できるように設けること。
  - ア 縦長収納庫を設置し、棚板を2段設けること。
  - イ 患者室右側（運転席側）にルーフサイド収納庫（アクリル扉2枚付き、中仕切りあり）2個設置すること。
  - ウ 患者室左側（助手席側）にルーフサイド収納庫（アクリル扉2枚付き、中仕切りについては、前側はあり・後ろ側はなし）を2個設置すること。なお、前側のルーフサイド収納庫下に固定式のランプ（LED）を取り付けること。
  - エ 患者室（助手席側後部）に、自動心肺蘇生器（LUCAS 3）一式が収納可能な収納庫を取り付け、収納庫上部に消毒液（ウェルパス1L）収納庫を設置すること。
  - オ 患者室後部（運転席側）に、スライド式の収納庫を設け、その上部に施錠装置付き収納庫を設置すること。
- (13) サイド収納ボックス又は、縦型収納庫の扉部に救出救護用資器材（レスキュー用品4点セット）を取り付けること。
- (14) 全脊椎固定具（バックボード）及びスクープストレッチャーを確実に収納できる器具を設けること。

(15) 除細動器 ZOLL-X シリーズの台座を取り付けること。

#### 4 ストレッチャー関係装置

- (1) 架台は、患者室中央に配置し確実にストレッチャーを固定し、容易に解除できる装置を取り付けること。
- (2) 架台は、左右スライドが可能な構造とし、操作スイッチ等は操作しやすい位置に設けること。
- (3) 架台には、加速等により車体からメインストレッチャーに伝わる振動及びブレーキの制動時に発生する衝撃等を十分に吸収できる機構を設けること。
- (4) ベッド右側に全脊椎固定具（バックボード）及びスクープストレッチャーの双方が収納でき、容易に出し入れができるような構造とすること。

#### 5 酸素吸入装置

- (1) 患者室内に酸素吸入装置及び人工蘇生装置を設け、酸素配管の位置及び構造は次によること。
  - ア 配管は、主として内板等の内側に配管し、室内に露出しない構造とし、点検が必要な箇所には点検ができるようにすること。
  - イ 配管は、十分耐圧力及び耐蝕性を有し、振動や衝撃等に耐える強度の材質を使用すること。
  - ウ 配管は、電装品等から十分な距離を取り、なおかつ、振動等に十分耐えるように確実、強固に固定すること。

#### 6 電装関係

##### 電装関係スイッチ等

- (1) 運転席と助手席の間に、電子サイレンユニット、散光式赤色警光灯、その他各種電装品のスイッチ等を設け、運転席と助手席から容易に操作できるように、インストルメントパネル付近に集中配置すること。また、これらの電装品のヒューズ等を一括して設け表示すること。（特殊ヒューズボックス）
- (2) 車両前部バンパー上部に赤色点滅灯（LED）を2個取り付けること。
- (3) 側面前部（2か所）及び側面後部（2か所）にルーフ赤色点滅灯と連動する赤色LED点滅灯を左右（4か所）に取り付けること。
- (4) フレキシブル型マイクは、運転席付近に設け振動に耐えられるように固定できるものとする。
- (5) 運転室内にワイド液晶カラーモニターをインストルメントパネル上部中央に設置し、後方モニターカメラを装着しシフトレバーを「R」にセットすると、全方向モニターカメラが連動して、ナビゲーションのモニター画面に映像を映し出すナビゲーションシステムを取り付けること。

なお、ナビゲーションシステムにおいてはTVの視聴ができないようチューナーレスとすること。

- (6) 電流計及び電圧計を運転席から見やすい位置に取り付けること。
- (7) 右折、左折、後退時の音声アラームを取り付けること。  
なお、左右折はサイレンアンプ内蔵、後退については別途音声式バックブザーの取り付でもよいとする。
- (8) サイレンアンプの音声メッセージの内容は以下の例のとおりとする。  
なお、メッセージの内容については当連合と協議するものとする。  
例) 救急車が通ります。進路を譲ってください。  
交差点に進入します。ご注意ください。  
右へ曲がります。ご注意ください。  
左へ曲がります。ご注意ください。
- (9) バッテリー
- ア オルタネーター及びバッテリーは、装備品が十分に使用できる容量のものを使用し、バッテリーメインスイッチを操作に適した場所に取り付けること。
- イ イグニッションキーON/OFFにより、特装電装品への回路が遮断可能な場合は、メインスイッチで対応可能とする。
- ウ バッテリー収納部は、容易に点検整備が行える構造とすること。
- エ バッテリーの配線は、第2種キャプタイヤケーブル又は、同等以上の強度を有するものとし、端子は腐食防止処置を施すこと。
- (10) 照明電源装置
- ア 室内灯運転室に1灯、患者室にLED×4灯以上を設けること。
- イ 患者の観察を正確に行える位置にLEDスポットランプ×2灯を設け、患者灯兼用バックドアスポットランプ(LEDスポットランプ・ドア連動)を設けること。
- ウ リヤホイール灯及びサイドフラッシャーランプを左右に取り付け、若しくはドアミラー一体型とすること。
- エ AC100V出力用コンセントを、患者室内の使用に適した場所に6口以上設けること。(例：2口×3か所)
- オ DC12V出力コンセントを、患者室内の使用に適した場所に2口以上設けること。
- カ 隊長席左上部付近に、フレキシブルアーム式のマップランプを設けること。
- キ 正弦波300W、DC/ACインバーターコンセントを設けること。
- ク AC商用電源入力コンセント(ワンタッチロック式)を設け、バッテリー電源の切り換えができること。なお、設置場所については、当連合と協議すること。
- (11) 電装品は無線障害の少ないものを使用し、必要部分にはボンディングワイヤーを設けること。
- (12) 前記以外のものについては、貴社標準仕様書により製作すること。
- 7 その他取付け品
- (1) 消防本部マークは、運転席及び助手席のドアに取り付けること。(ステッカー)

- (2) 地図入れ収納を運転席と助手席の間に(A3サイズ収納及び蓋なし)取り付けること。また、運転席後部に縦型収納庫を取り付けること。
  - (3) 隊長用ミラーを設けること。(内部も取り付け)
  - (4) 点滴フック及び点滴容器固定用の装置(2か所以上)を設けること。
  - (5) 左右後方の安全確認が容易にできるよう大型サイドミラーを設け、左右ともリモコン電動格納式とすること。
  - (6) 運転室ドア(左右)にサイドバイザーを取り付けること。
  - (7) 車両後退警告装置を設けること。
  - (8) 電波時計(アナログ)を患者室の見やすい位置に設けること。
  - (9) 足踏み式汚物入れ缶(脱着式)を設けること。
  - (10) 救急隊員用ルーフ側面及び後部作業灯については、下記のとおり仕様とする。
    - ア ルーフ左右×各2灯(計4灯)(LED仕様)
    - イ 後部作業灯1灯以上(LED仕様)
    - ウ 作業灯は地面に対し、垂直方向であるが、照射方向は下方を照射できるもの。
    - エ 作業灯の点灯は、サイドブレーキを引いた状態若しくは、ATのシフトレバーがPレンジの時のみ点灯すること。
    - オ 作業灯の点灯時、アイドルアップ装置等を設け、バッテリー電圧低下にならないようにすること。
  - (11) 酸素吸入装置の接続部分に、自動心肺蘇生器を接続する川重型2口を付けること。
  - (12) モニター付き前後ドライブレコーダーを取り付けること。また、SDカードスロット(SDカード32G以上含む)及びGセンサー機能と同等以上の性能を有すること。
- 8 取り付け及び付属品等
- (1) 取り付け及び積載棚は、堅牢で振動に十分耐えうる構造とする。
  - (2) 救急自動車付属品、その他の医療資器材、医療品、取付け品は別表のとおりとする。
- 9 塗装関係
- (1) 車体の塗装は救急仕様とし、亀裂、剥離等による錆が発生しないよう特に念入りに行うとともに、上質塗料で入念に吹き付け仕上げをすること。
 

なお、車体周囲の中央部には、テープ式で朱色の再帰性に富んだ反射材(幅53mm以上)を入れること。また、バックドアの内縁には、3方向から視認できるよう赤帯反射テープを取り付けること。
  - (2) 文字記入
 

当車両の車体には、次のとおり文字及び図柄を記入すること。

ア 消防本部名	
名 称	宇城広域連合消防本部
記入位置	車体両側面及び後部ドア
寸 法	120mm×120mm

色 別	黒 色
イ 車両番号	
名 称	205
記入位置	車体前面左側及びバックドア
寸 法	140mm×70mm
色 別	黒 色
ウ 対空標示	
名 称	字 A 3
記入位置	車両上部
寸 法	600mm×300mm
色 別	赤 色
エ スターオブライフ (救急隊章)	
図 柄	図面参照 (別図 1)
記入位置	車両片面 (運転席側)
寸 法	300mm (直径)
色 別	図面参照 (別図 1)
オ 消防本部マーク	
図 柄	図面参照 (別図 2)
記入位置	前部ドア (両面)
寸 法	200mm×200mm
色 別	消防マーク (金色) 文字 (黒色)
カ 字 体	丸ゴシック
キ 施 工	カッティングシート

### (3) 納入後

12 か月以内に塗装部分の剥離、亀裂等が生じた場合は、再塗装すること。

なお、その他詳細については、別途協議するものとする。

## 10 無線機及びAVM装置関係

- (1) 既存の車両から無線機 (デジタル式) を載せ換えし、取り付けること。
- (2) 無線装置関係は、特殊機能を有するため施工にあたり、当連合の指示によること。  
また、本装置の請負業者と事前に協議し、不測の事態に至らないように努めること。
- (3) 既存の車両からAVM装置を載せ換えし、取り付けること。
- (4) 無線機及びAVM装置の取付けに関しては、期日、方法等について無線機取付け業者及びAVM装置取扱い業者と密接な打合せをし、車両納入時に無線機及びAVM装置が運用できること。
- (5) 無線機の取付け位置は、ダッシュボードの助手席側若しくは、運転席と助手席の間に取付け、AVM装置は運転席と助手席の間に、無線機及びAVM装置が容易に操作でき

るようにとすること。

- (6) 当連合の指定救急車から被更新救急車への無線機及びAVM装置を載せ換え、運用できるようにすること。

#### 11 銘板

- (1) 銘板は次により取り付けること。

ア 各スイッチには、名称「入・切」又は「ON・OFF」の表示をすること。

イ その他、表示が必要と思われるものについては、銘板を取り付けるものとする。

### 第4章 救急資器材の仕様

(救急資器材の機能)

#### 1 自動体外式除細動器 (AED)

救急現場、救急車内において処置行為を行う前段階として、傷病者の状態(心電図:12誘導も含む)、血圧、非観血的血中酸素飽和度を客観的に把握するシステムであるもの。

心肺停止の傷病者のうち、心電図上、心室細動及び無脈性心室頻拍が認められる場合、包括的指示下における救急救命士及び救急隊員が実施する電氣的刺激を与え、洞調律を得ようとする機器で、二相波形式のものであり、軽量で救急現場へ持ち運びしやすいもの。

#### 2 患者搬送ボード

プレホスピタル外傷からの観点から、傷病者が頸椎損傷又は脊椎損傷の疑いがある場合に全身固定ができるもの。

#### 3 その他付属品

別表2及び3を参照

### 第5章 補足

- 1 技術等関係により本仕様書に多少の変更が生じる場合、及び本仕様書の細部について当連合の指示を受けること。

- 2 納入後1年以内に資器材等の故障の場合には、取換え及び再加工すること。

- 3 納入時に受注者の立会いのもとで、艤装検査、取付け品等の検査及び試験を行うこと。

なお、検査等に不合格の場合は取換え、再加工等により適合するようにならなければならない。

- 4 納入時に緊急自動車届出確認書を提出すること。

- 5 納入場所は、宇城広域連合北消防署美里分署(下益城郡美里町大窪 837 番地5)とする。

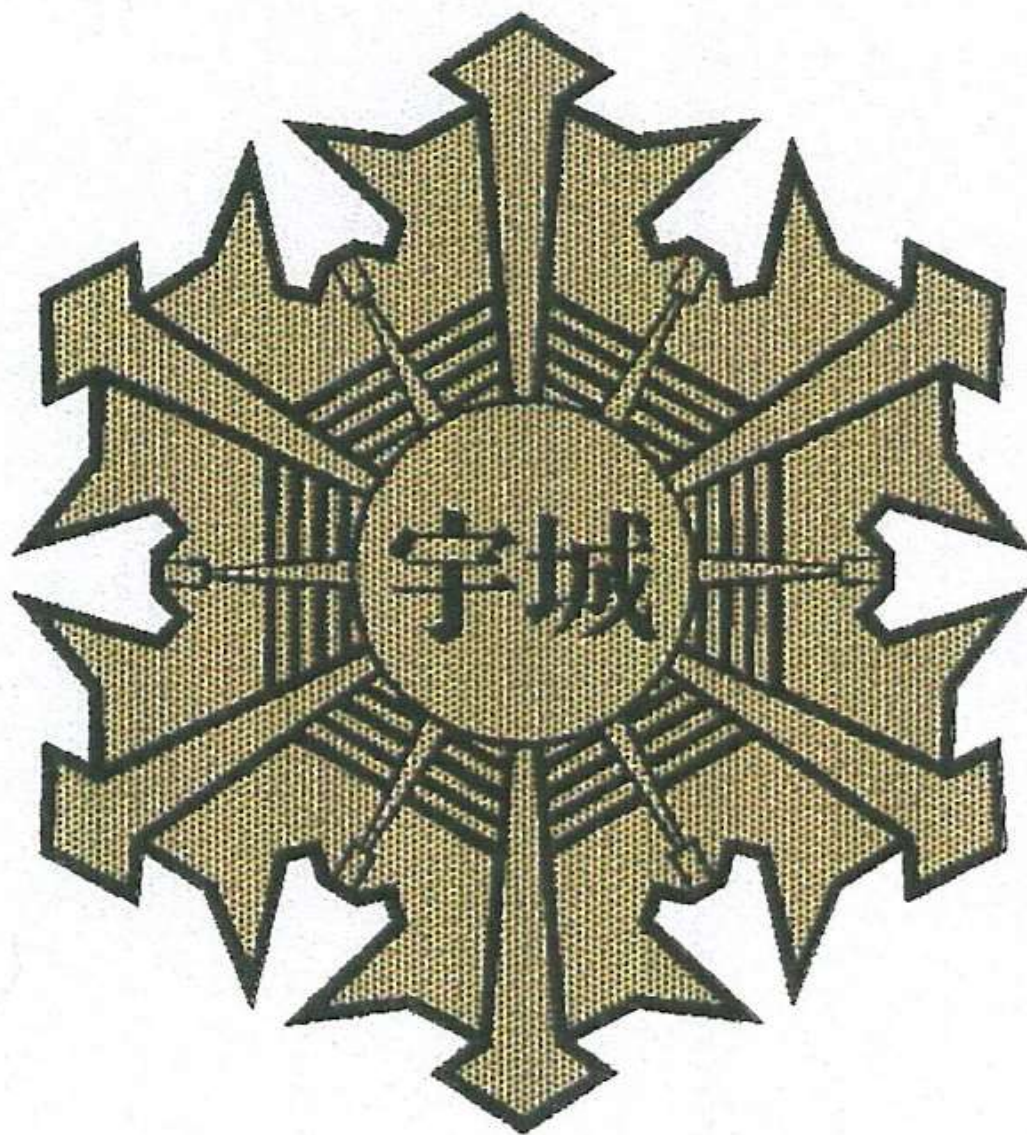
- 6 納入期間は、令和9年2月26日とする。なお、納入期日に遅延を生じたときは、速やかに当連合の指示を受けること。

7 本仕様に定める事項のほか、疑義が生じた場合は、当連合及び受注者で協議のうえ決定する。

別図1 スターオブライフ (救急隊章)



別図2 消防本部マーク



## 別表 1-1

## 取付品

番号	品名	数量	摘要	価格
★1	防振ストレッチャー架台	1台	磁気式、若しくは磁気式の取り扱いがない場合は空気式とする。	
★2	メインストレッチャー	1台	ファーノ社製 エクステンジストレッチャー4080S・3インチ マットレス付き・左右アームプレート・患者固 定ベルト430×4・新型ガートル架キット・その 他・専用枕・雨覆い等を付属	
★3	スクープストレッチャー	1式	ファーノワシントン製モデル65EXL ヘッドイモビライザー（スクープストレッチャー 用）モデル445-S ベルト等付属品含む	
★4	バックボード	1式	ハイテクバックボード モデル2010 ヘッドイモビライザー モデル445 ベルト等付属品含む	
★5	電子サイレン (拡声装置付き)	1個	大阪サイレン製 OPS-D151Q（音声合成、住宅 モード付）又は同等以上 50Wマイク付き、ピーポーとウー音の2音式 スピーカー50W×2個 (標準装備) ※音声メッセージ用スイッチ取付け	
★6	散光式赤色灯	1個	標準仕様 前 LED 後 LED×2	
★7	酸素吸入器	1式	オキシパック OX-ⅢS 又は同等品 酸素取り出しジュロン（2口）を含む 酸素ボンベアルミ製9.4ℓ×2本/ロレットバルブ ※酸素ボンベバルブはヨークタイプとする。 ※容器所有者登録記号及び番号を刻印すること。 減圧弁2個、三方チーズ、配管ホース	
★8	救急搬送用人工呼吸器	1式	ANSWER Lite(アンサーライト)Dセット ※人工呼吸器の上部に自動体外式除細動器 (ZOLL)を設置できるようにすること。	
★9	消火器	1本	標準(自動車用ABC粉末 1.8kg以上)	

## 別表 1-2

## 取付品

番号	品名	数量	摘要	価格
★10	フロントバンパー赤色点滅灯	1台	株式会社大阪サイレン製作所 LFA-150 (2灯) LED点滅灯 又は同等以上	
★11	側面後部補助赤色灯	1式	LED赤色灯 散光式赤色灯と連動して点滅	
★12	後退警報機	1個	音声式(バック左折時鳴動)解除スイッチ付	
★13	消防マーク	1個	150mm 樹脂製・メッキ仕上げ	
★14	リヤホイール灯	2個	スモール連動(左右設置)・解除スイッチ付	
★15	サイドフラッシャーランプ	2個	左右に取付け	
16	酸素取り出し口	1式	ME機器ラックに取付け(川重型)	
17	患者灯	1式	標準仕様	
18	バックドアスポット灯	1式	標準仕様	
19	ステップ灯(バック及びサイドドア用)	1式	標準仕様	
★20	DC/ACインバーター 及びACコンセント	1式	正弦波・300W/アースコンセント4個付 DC12V→AC100V	
★21	ナビゲーションシステム	1式	SDナビ カラーバックモニター付 TV視聴が出来ないチューナーレスとすること	
★22	側面前部補助赤色灯	1式	LED赤色灯 散光式赤色灯と連動して点滅	
★23	リヤ作業灯	1式	M230-GU08:LEDバックドア作業灯 又は同等以上	
★24	ドライブレコーダー	1式	SDカードスロット(32G以上 SDカード含む) 前後モニター・Gセンサー付き	

別表 1-3

取付品

番号	品名	数量	摘要	価格
★25	商用電源入力コンセント	1式	AC100V用	
26	電流計&電圧計	1式	標準的仕様を付けること	
27	レスキューシート	1式	ファーノ モデル44 又は同等以上	
★28	マップランプ(隊長席)	1個	標準仕様	
29	点滴ビン固定装置	2式	標準仕様及び天井に2組取付け	
★30	資器材収納庫	1式	標準仕様(ME機器ラック含む)	
31	引き出し式収納庫	1式	標準仕様を付けること	
32	網棚	1式	運転席・助手席	
33	地図入れ	1個	A3サイズ 蓋なし	
34	調光フィルム	1式	(ON・OFF切り替えスイッチ付き)	

★印については、取付金具を含む

## 別表 2

## 車両積載品（高度救命処置用資器材）

番号	品名	数量	摘要	価格
★1	気道確保用資器材	1式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レールダルサクシオンユニットLSU4000 再使用型キャニスター付（78000005）</li> <li>・ LSU4000用ポーチ</li> <li>・ LSU4000用ショルダーストラップ</li> <li>・ LSU4000用フィルター</li> <li>・ LSU4000用バッテリー × 2</li> </ul>	
2	ビデオ喉頭鏡資器材	1式	COVIDIEN McGRATH MAC ビデオ喉頭鏡	
★3	自動体外式除細動器 （二相波形式）	1式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ZOLL Xseries 標準モデル（NIBP付）本体 商品番号602-2121011-36</li> <li>付属品</li> <li>Xseries本体、12Lケーブル、3Lケーブル、 サイドケース、バッテリー、電源ケーブル、 血圧カフセット、血圧カフ接続ホース、 記録紙 各 1</li> <li>・ レッドリユーズブルケーブル4（Spo2 ケーブル）× 2</li> <li>・ LNCS成人用リユーズブルセンサー（Spo2 センサー）× 2</li> <li>・ LNCS小児用リユーズブルセンサー（Spo2センサー）× 2</li> <li>・ LNCS小児用ディスプレイリユーズブル粘着式センサー20個入</li> <li>・ USBフラッシュドライバーX Series用 16GB</li> <li>・ マイクロストリームアドバンス 挿管用フィルターライン成人/小児 短期用25個入り</li> <li>・ X Series記録紙 6個入り× 2</li> <li>・ SurePower II 充電式バッテリー× 2</li> <li>・ SurePowerバッテリーチャージャー（シングル）</li> <li>・ 成人用電極パット（Stat-padz II）</li> <li>・ リユーズブルカフ小児用</li> <li>・ リユーズブルカフ成人用</li> <li>・ リユーズブルカフ成人用・大</li> <li>・ プレミアムキャリーケース</li> <li>・ デモ用成人用電極パット（CPR-Stat-padz）</li> </ul>	
4	自動心肺蘇生器	1式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CLOVER3000 PRIMEパッケージ</li> <li>内容</li> <li>・ 本体 ・ X線対応バックボード× 2</li> <li>・ ディスポ換気ホースセット× 2</li> <li>・ 酸素供給ホース（スパイラル仕様）</li> <li>・ テストバック ・ バッテリーボックス× 2</li> <li>・ ボンベキャリーバック（ブルー）サイドバック（ブラック）セット付</li> <li>・ 救急用酸素調整器OxyFlow20M</li> <li>・ クローバー3000用ターボリン担架（収納バック兼用）× 2</li> <li>・ スタントFRP複合容器8.4L酸素ボンベ× 3</li> </ul>	

## 別表 3

## 積載品 (救急用資器材)

番号	品名	数量	摘要	価格
1	聴診器	1個	リットマンカーディオロジーⅢ又は同等品	
2	携帯用血圧計	1個	エルマノ血圧計(ES-H55) 又は同等品	
3	マルチ型ガス検知器	1個	XA-4400Ⅱ 又は同等品 (酸素・硫化水素・可燃性ガス・一酸化炭素)	
4	ハンディーライト	2個	BLACKWOLFハイパービームライト1600 又は同等品以上	
5	トリアージタグ	1組	100枚入り	

## 別表 4-1

## 付 属 品

番号	品 名	数量	摘 要	価格
1	タイヤチェーン	1組	ネット式(収納ケース付)純正品	
2	スペアタイヤ	1本	ラジアルタイヤ(装備品同等品)	
3	スタッドレスタイヤ	1組	スチールホイール付	
4	車輪止め	1組	ゴム製又は樹脂製(ロープ付)	
5	フロアマット	1式	純正品	
6	サンバイザー・サイドバイザー	1式		
7	反射式事故防止板	1個	認定品(高速道路用)	
8	標準工具	1式	標準仕様(ジャッキ含む)	
9	ナンバープレートグリル	1式	前・後	
10	助手席後部収納庫	1式	自動心肺蘇生器(CLOVER3000)収納用	
11	時計	2個	運転席(デジタル)・患者室用(アナログ)各1	
12	隊員用シートベルト	1式	標準仕様(ELR付き 3点式)	
13	ダストボックス	1式	標準仕様(車両取付タイプ)	
14	救命浮輪	1個	ライフボール	
15	3段収納庫	1個	D110-RD20:前側 又は同等品以上	

別表 4-2

付 属 品

番号	品 名	数量	摘 要	価格
16	冷暖房装置	1 式	標準仕様(フロント・リヤ)	
17	換気扇	1 式	標準仕様(患者室天井取付け) 強弱 2 段切替	
18	横向きサイドシートベルト	1 式	標準仕様 2 か所以上	
19	フォグランプ	1 式	標準	
20	助手席インナーミラー	1 個		
21	助手席サイドミラー	1 個	アウトサイドミラー	
22	マッドガード	1 式	純正品	

★印については、取付金具を含む

	無線機及びAVM載せ換え	2 式	予備車含め 2 台分	
	その他(仕様書に基づく架装一式)	1 式	LEDヘッドライト、ルーフ作業灯、看板文字、反射テープ、レスキュー用品、アースボンディング等	
	自賠償保険・重量税・リサイクル料	1 式		
	高規格救急自動車	1 台		